

鳥羽市全員協議会会議録

令和2年9月15日

○出席議員（14名）

1番	戸上 健	2番	中世古 泉
3番	井村 行夫	4番	松井 一弥
5番	浜口 一利	6番	木下 爲一
7番	坂倉 広子	8番	世古 安秀
9番	橋本 真一郎	10番	坂倉 紀男
11番	村山 俊幸	12番	山本 泰秋
13番	野村 保夫	14番	寺本 春夫

○欠席議員（なし）

○出席説明者

・小竹教育長、山本教委総務課長、岩本学校教育課長

○職務のために出席した事務局職員

事務局長 清水 敏也

書記 中村 真緒

次長兼
議事総務係長 木田 崇

(午前10時43分 開会)

○木下順一議長 本会議に引き続き、お疲れさまでございます。

ただいまから全員協議会を再開いたします。

本日の案件につきましては、お手元に配付してあります事項書のとおりでございます。

それでは、協議事項に入ります。

協議事項1、執行部からの報告事項、公用車の車検切れ運行についてであります。

それでは、担当職員の説明を求めます。

教育長。

○小竹教育長 教育委員会でございます。議員の皆様には大変貴重な時間を割いていただきまして、誠にありがとうございます。

おわびを申し上げないかん件が2件ほどございます。

1件目は、先ほど議長からありました、車検が切れていたことに気がつかず、職員のほうが公用車として使用していた件、これは本日、新聞等にも報道されておりましたので、ご承知の件と思いますが、改めて経緯の報告をさせていただいて、おわびを申し上げたいと思います。

後ほど、もう一件、追加した報告させていただきたいことが、先日の11日の議会中に給食の案件がありまして、岩本課長が途中で議場を退席していったという件がありまして、何事だろうということだったと思うんですけども、これにつきましても、詳しく報告をさせていただいておりませんでしたので、この場をお借りしまして報告させていただきたいというように思っております。

担当課のほうから詳しく説明させていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

○木下順一議長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 学校教育課、岩本です。よろしく願いいたします。

このたびは、公用車の車検切れ運行に関しまして、大変ご迷惑をおかけいたしましたことにおわびを申し上げます。申し訳ございませんでした。

それでは、内容についてご説明させていただきます。

資料のほうをご覧ください。

学校教育課が管理する公用車において、自動車車検証、車検の有効期限が満了した後に運行していた事実が判明し、鳥羽警察署に届出を9月11日に行いました。

1番、車両の車検満了日ですが、こちらは令和2年7月1日となっております。ただ、実際の満了日が令和2年5月28日でありました。こちらにつきましては、その下の6番のほうを、資料の6番をご覧ください。

本来、5月28日が車検の満了日でしたが、国土交通省の自動車局整備課の通知により、新型コロナウイルス感染症対策として、その有効期間が延長されておりました。4月16日付で、5月28日の車検満了分につきましては6月1日まで延長され、さらに5月8日公示の分におきまして、7月1日まで延長されましたので、車検満了日が令和2年7月1日となっております。

2番、車両の運行実態でございますが、運行期間は令和2年7月2日から9月11日まで実質72日間、使

用日数は45日、走行距離は1,083キロメートルでございます。運転者の人数といたしましては、実人員として19人が運転をしておりました。

3番、事実が判明した経緯でございますが、令和2年9月11日の給油時に、ガソリンスタンド職員から、フロントガラスに張られている車検ステッカーを見て、車検の有効期限が満了していることを職員が指摘され、事実が分かったということとなっております。

なお、給油後、その職員はそのまま当該車を運転して教育委員会事務局まで帰ってきてしまいました。

4番、原因ですが、車検更新事務を担当する職員が、当該車両の車検有効期限の満了日を見落とししていたということが要因となっております。

5番、再発防止に向けてですが、まず、1つ目として、鳥羽市自動車等運行管理規定に基づき、車両の適正な管理・運行の推進を徹底していきたいと考えております。

2点目といたしましては、車両管理については、学校教育課と教育委員会総務課でのダブルチェックを実施するとともに、車検証の有効期限の確認等を複数人で行いたいと考えております。

3番目といたしまして、公用車備付けの運転日誌の表紙に、次回車検満了日シールを張り付け、公用車乗車時に運行前点検とともに車検の確認を徹底してまいりたいというふうに思っております。

以上のようなことも含め、再発防止には全力を挙げて取り組んでいきたいというふうに考えております。

学校教育課の公用車がこのような案件を起こしてしまったことに深くおわびを申し上げますし、管理の責任者である私の責任だというふうに感じております。大変申し訳ございません。

このような形で再発防止に努めたいというふうに考えております。

○木下順一議長 山本総務課長。

○山本教委総務課長 資料についてご説明をさせていただきたいと思っております。

お手元に配付をさせていただいております教育委員会公用車一覧ということで、教育委員会で管理する車は12台ございます。その中で、この表の中にあります1番から7番の車両につきましては、スクールバスや離島の学校に配備しています小型貨物等の車両になります。ここは、総務課で7台管理をしております。

次に、8番から10番の車両につきましては、学校教育課のほうで管理をしております車で、トヨタダイナとかマツダタイタンとかありますが、これが給食センターの配送に使われておるトラックになります。

それと、最後、11、12番目の2つの車両につきましては、生涯学習課のほうで管理をさせていただきますカローラバンとトヨタノアになります。

この12台について、教育委員会のほうで管理をしておるんですが、実際に現場以外で使っています車両につきましては、1番、8番、11番、12番の4台を通常の業務の中で使用させてもらっております。このうちの8番が今回の車検切れの車両になります。

この4台については、学校教育課、総務課、生涯学習課の3課の職員とかもめ幼稚園と図書館の職員が使える対象としてふだん使っておりますので、今回、従事人数として報告させていただいた19人につきましては、事務局の生涯学習、学校教育総務課、また図書館の職員のうち19人が運転をしておったところです。

そういう管理の中でやっております中で、全体、職員全員が使っておりますので、本来、担当課が管理をしておるんですが、実際には、使用するのが全員使っておりますので、本来、誰か職員が気づくべきやったと思って

おります。

また、今回、スタンドで発覚して、職員が運転して帰ったという事実になっています。その辺につきましては、日頃の職員への指導、管理者としての指導も少し不足しておりましたので、その辺も反省をさせていただいて、これからまたその辺の指摘受けたところを反省して、おわびしたいと思います。

以上、説明とさせていただきます。

○木下順一議長 もう一点あるのも続けていってもらおうか。それとも、これだけで質疑を受けますか。どうしましょう。

もう一点のほうの報告のほうも、そしたら、先へお願いできますか。

学校教育課長。

○岩本学校教育課長 学校教育課、岩本です。すみません。

それでは、引き続き、給食に関わる内容についてご報告をさせていただきます。

資料のほう、1枚行っているかと思いますので、議会報告という文書のほうをご覧ください。

こちらにつきましては、先週金曜日、9月11日の学校給食において起こった出来事でございます。

9月11日の中央調理場における学校給食で、副食に異物混入のおそれがありましたので、その提供を中止いたしました。その後、安全性が確認されたため、提供を再開いたしました。小学校、幼稚園の給食時間には間に合わなかったため、副食については不提供となったという報告でございます。

この日のメニューが、3番に記載させていただきましたように、八宝菜、ご飯、牛乳、大豆とサツマイモとジャコの揚げ煮でございましたが、そのうち副食である大豆とサツマイモとジャコの揚げ煮の調理過程で、調理に関して異物混入のおそれが発生いたしました。

概要といたしましては、10時55分にその副食を調理いたしましたフライヤーの洗浄中に、部品の一部、ナットが欠落していたことが判明いたしました。欠落したナットを、自動フライヤー付近を中心に探索を始めたところです。このナットにつきましては、調理前に調理員が目視をして確認をし、そのときはきちんとあったということで確認されておるんですが、調理後、清掃する段階でそのないことが判明したということであります。

11時10分に周囲を確認しましたが、そのナットが確認できないため、中央調理場に勤務しております栄養教諭のほうに教育委員会のほうに連絡をいたしました。教育委員会のほうは、ちょうど議会中で一般質問の最中でしたので、11時20分頃、教育委員会のほうから議会中の私のほうへ連絡が入りましたので、一般質問の最中ではございましたが、一時退座をさせていただきまして、その対応に当たったということとなっております。

調理中に欠落したかどうかというのは分かりませんし、そのなくなったナットのほうが見つかっていない状況でしたが、フライヤーで調理したものが、先ほどから申しております副食のみであったことから、その副食のみを、もう既にセンターから各学校への配送が終わっておりましたので、その副食のみ、子供たちへの提供を止めるという判断をし、そのような連絡を各校に入れていただいたということがありましたが、その後、12時15分ごろ、そのナットのほう調理場の排水溝のほうから見つかったということがありました。ですので、この連絡を12時20分頃、教育委員会のほうに連絡をいただき、私のほうがその情報を受けました。

副食を一旦学校までもう配送していた副食の安全性がそこで確認をされましたので、改めて副食の提供を再開する、食べていいですよということで各学校へ電話連絡するように指示させていただきました。

しかしながら、時間が12時30分ごろとなっていたため、既に小学校、幼稚園においては、給食開始の時間が早いため、その提供に間に合わなかったという結果となってしまいました。中学校におきましては、全体としての給食開始時刻が幼稚園、小学校よりも少し遅いですので、中学校については間に合ったという形となっております。

ですので、結果として、この副食につきましては、中央調理場での調理でしたので、陸地の学校、幼稚園のみとなりますが、幼稚園、小学校についてはその副食の提供ができなかった。中学校については提供が可能となったということとなりました。

それで、保護者の方々につきましては、そのような案件が起きましたので、11日の夕方にとぼっ子メールにおいて、幼稚園、小学校の保護者の皆様については、今日の副食の提供ができなかったお詫びをメールで送らせていただいたこととともに、再発防止に努めたいということで連絡をさせていただきました。

また、この案件について、調理場のほうの委託業者とも打合せをきちんとさせていただいておりますが、ナットにつきましては、フライヤーの見えるねじのほうがなくなっていたのではなくて、ねじを差すこちら側、見えない部分のねじ、受けるほうのねじがなくなっていたということで、調理開始時にはきちんと刺さっていたものが、清掃して拭いているときにぐらっと揺れる感じがしたので、おかしいと思って後ろを見ると、その受けるほうが外れていたということで気づいたということです。8ミリ程度の本当に細かいねじやったんですが、排水溝から見つかった事なきを得たんですけれども、今後は、上から別のもので覆うとかして再発防止に努めるように、業者のほうと教育委員会のほうで協議をして、そういった対応をさせていただいております。

子供たちの安全安心の給食を提供するというのが第一でしたので、今回このような結果になってしまいましたが、人的被害がない形で対応させていただいたということで、子供たちはもとより、保護者の方にもご迷惑をおかけした案件ということで、ご報告をさせていただきます。

○木下順一議長 2点報告、説明を受けました。

1点目の公用車車検切れ運行について、ご質疑がございましたらお願いをいたします。

濱口正久議員。

○濱口正久議員 今回、こういうことで、事態になったわけですがけれども、普通に、多分、道路交通法の関係上、いろんなことがあるかと思うんです。

この公用車一覧表を見せていただいたんですけれども、こういうものというのは、これは事前になかったんでしょうか、こういう一覧表。今、見させていただきましたけれども、各課またいだものの一覧表というのは、以前にもあったんでしょうか。

○木下順一議長 総務課長。

○山本教委総務課長 一覧のほうは作っております。車検管理を含めたものとしては作っておりませんでした。

○木下順一議長 濱口正久議員。

○濱口正久議員 というのも、やっぱりばらばらで管理していると、そういう今回みたいな落ちた部分があって、

今後、重複するという話が出ましたけれども、もともとこういうものがあって、分かりやすくあれば、誰の目にも分かるようになっていたと思います。

19人の方々が運転されて、今まで知らずに、気づきそうなものが気づかなかったことは、非常にこれは残念で仕方がなく、その間、運転されていたこととか、幸い事故がなかったというのがありますけれども、大変な事態に陥る可能性もあったので、これはもう普通に、行政というよりも、普通に道路交通法で車を運転する者にとっても、非常にこれは注意すべきことだと思いますので、車は安全が第一番ですけれども、凶器にもなり得ることですので、その辺のところの関係もしっかりと、多分恐らくしていただけるんだと思いますけれども、今後もしっかりとしていただきたいなというふうに思います。

以上です。

○木下順一議長 他にございませんか。

坂倉広子議員。

○坂倉広子議員 すみません。すごく一般的な考え方で大変申し訳ないんですけども、公用車ということでいろいろあると思うんですけども、一般、私たちが自分たちで車に乗っているものというのは、車検のお知らせというものが業者さんから来るという、そういうふうなのは実際ないのでしょうか。

○木下順一議長 山本総務課長。

○山本教委総務課長 今回は、ほかの車両についてはいろいろ整備会社ございますので、届いておる状況でしたが、この車両については、たまたまその通知が来ていなかったようです。

○木下順一議長 よろしいですか、広子議員。

○坂倉広子議員 何かあるんですか。じゃ、説明をお願いします。

○木下順一議長 山本総務課長。

○山本教委総務課長 この当該車両については、健康福祉課のほうから譲り受けた車両になっています。ですが、昨年度は通知が来て通常に車検を受けておりますので、今年度たまたまこちら職員が気づいていなかったのと、事業者のほうからちょっと案内が届いていなかったということがちょっと重なってしまいまして、こういう事態を招いてしまいました。

○木下順一議長 坂倉議員。

○坂倉広子議員 これからの今後のことの再発防止についてもご説明がありましたので、またダブルチェック等々、注意喚起、よろしく願いいたします。

○木下順一議長 他にございませんか。

山本総務課長。

○山本教委総務課長 警察に報告した事案と、これからのタイムスケジュール的なものを昨日、車両確認があった時点で聞かせていただいていますので、その辺を報告させていただきます。

9月11日の金曜日に発覚したときに、鳥羽警察のほうへ私がもう一人の職員と一緒に届出に行ってきました。その中で、どこで気づいたんやとか、これからどういことを注意していくんやとか、全体で何台あるんやとか、いろんな話を聞かれながら報告してきたところです。

それで、昨日、現場、車両確認のときに、今後気になります19人の職員が運転しているということと、実

際、車両に乗って職員が帰ってきたということもありますので、これからのそういう行政処分のところを聞かせていただいたんですが、まだまだ警察のほうでいろいろ調査をさせてもらうので、この2月や3月で結果は出ませんということをはっきり言われました。また、その辺の行政処分も含めて、結果が出た時点では皆様に報告をしていきたいと思っておりますので、現状はそういうところです。

以上です。

○木下順一議長 この件、よろしいでしょうか。

浜口一利議員。

○浜口一利議員 今回の原因は見落としという説明があったわけなんですけれども、本来、この5月28日で車検が切れるところが、またコロナのほうで7月1日になったということなんですけれども、この発見するまで、9月11日、本当に4か月近くあるわけなので、このあたり、ここまでこれが分かるような、発見するような機会って全くなかったのかなということ、本当に不思議なぐらいなんですけれども、単なる見落としだけで、後、以後、ちゃんと管理しますということやけれども、そのあたりをしっかりとせよ、また今後もこのようなことがあるかも分からんというような不安感があるわけなので、そのあたりは、この間、発見するような機会って本当になかったわけなんですか。

○木下順一議長 山本総務課長。

○山本教委総務課長 皆、乗っていますので、窓のステッカーぐらいは見る機会があったと思うんですが、もう思い込みの中で使用をしていたと思っています。

これからは、今現在は各課から予算要求になっていますし、各課の手配で車検を受けるような形になっています。それを、今回、正久議員言われるように、こういう一覧表を作りながら、各課で注意をし合い、チェックをしていく形に、常に交通安全の話とこういう物品の管理については、重々職員と連携を取ってやっていきたいと思っております。

○木下順一議長 浜口一利議員。

○浜口一利議員 今後、やっぱりこの再発防止策ということで挙げてありますけれども、このあたりはやっぱり当然しっかりとやっていただきたいということでお願いします。

○木下順一議長 他にございませんか。

南川議員。

○南川則之議員 説明も聞いて、内容詳しく分かったんですけども、朝刊、朝の新聞にも出ていましたけれども、私、コロナの対策とかいろいろ文教でもいろいろ聞かさせてもらって、学校教育課、本当によくやっておると思います。それと、少ない人数でよくやっておると思います。

そんな中で、起こったことについては、当然反省というか、きちっとせないかんとところがあるんですけども、一利議員言われたように、再発防止というところをしっかりと、書いてありますけれども、今後やってほしいということと、それと、これでまた職員が委縮せずに、教育委員会全体で捉えて、みんなで共有して、今本当に子供たちのためにGIGAスクール構想とか、これからやるべきことはすごくようけあると思います。そういったところに邁進して、そういったことがちょっと影をあれしなからやっていると、さらに教育的にもよくないということで、山本課長、自分の責任ということを言われたんですけども、私は、みんなの責任だ

と思いますし、反省せないかんところは反省して、そういった再発防止をしっかりとやってほしいということで、そこに尽きると思いますので、誰々が悪いんじゃないかと、みんなが今回はきちっとせないかんだなという意識で、きちっとしたそういう対策というのを踏まえてぜひやってほしいと思いますので、教育長に、ちょっと全体的に再度どんなやというところの気持ちがあれば、お聞きします。

○木下順一議長 教育長。

○小竹教育長 叱咤激励をいただきまして、ありがとうございます。

運転記録を見ていましたら、私も9回乗ってまして、大変申し訳なく思っています。

ご承知のように、シールが車の中に張ってあるんですけども、ルームミラーの後ろになってまして、ついつい見落としていたというのが正直なところで、それから、車検は教育委員会の事務局の中に4台確保しているんですけども、1台ずつ車検ですといって一定の期間、代車が来たりすることは知っていたんですけども、自分のこの車が車検切れているということが気がつかなかった、油断が当然ありまして、誰かが気がついていたらこんなことにならなかったということで、新聞等には、担当職員の見落としということが書いてありましたけれども、これはもう教育委員会全員の、19人乗っていますので、責任だということで考えていきたいというふうに思っておりますし、おっしゃっていただいたように、失敗は失敗として、後の仕事もきちんと前向いてやっていけるようにしたいというふうに思っております。

それから、そのシールが見にくいということが一つの原因にもなっていますので、これも目に見えるところに、見やすいところに車検の期限をちゃんと書いて、お互いがチェックできる体制をこれからしっかりつくっていききたいと思います。何よりも、信用の失墜があったということで、議員の皆さんはもちろんですけども、市民の皆様とか保護者の皆様には大変申し訳ない思いでいっぱいでございます。再発防止に努めたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○木下順一議長 南川議員。

○南川則之議員 ありがとうございます。

公用車は、今、本当に一元管理みたいな形でしておりまして、誰が使ってもいいような状況になっておるといことで、教育長が言われたとおりなんですけれども、車によっては、もう学校教育課の職員が朝早くから夜遅くまで車で出っておって、チェックせいと言っても、事務職員がなかなかチェックできないというところもあると思いますので、きちっと再発防止はせないかんとお思いますけれども、今後、後の仕事もきっちりやれたらという教育長のご意向もありましたように、尾を引かんように、ぜひしっかりとやってほしいなと思います。

以上です。

○木下順一議長 他にはございませんか。

河村議員。

○河村 孝議員 この話を聞いたときに、果たして教育委員会だけなのかと。今回、教育委員会の中でそういうことが起こりましたけれども、全庁的にどうなんだというところは私の中で疑問でありまして、教育委員会に直接関係ないんですけども、総務課長、確認したら、全てその件を受けて総務課長がチェックしてくれたみたいで、問題ないというふうなお話をいただきました。

ここのポイントは、起こってしまったことに対して原因分析して、二度とそういうこと、同じことが起こらないようにするということが大事なわけで、その再発防止策として、複数人のダブルチェックと車検シールをしっかりと運行日誌の表紙にするというところで考えてみえるとは思うんですけども、それが、議長、これ全庁的に、こういうことが起こったということは、ほかにも起こる可能性が、ヒューマンエラーというのはどうしてもあると思うので、そのダブルチェックと次回車検の満了日のシールというのを議会から総務課のほうにも申し入れて、そこは徹底するよというところをぜひお願いしていただきたいなというふう思うんですけども、いかがでしょうか。

○木下順一議長 どうですか、皆さん、今、河村君が言われたように、総務課のほうへ議会からも申入れを入れると。

そのようにさせていただきます。

車検のほうの件はよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○木下順一議長 もう一点、給食の説明がありましたけれども、そちらはどうでしょう。よろしいですか。

瀬崎議員。

○瀬崎伸一議員 これまでにも、小さいものから大きいものからいろいろ異物混入が疑われる事案というのはあったかなと思うんですけども、今回は議会に対してもこのような詳細なご説明でありますし、保護者に対しても、保護者メールもいただいていたんですけども、結構詳細に書いてあったと思うんですけども、これからこういうふうな、あり次第には必ず報告をしていくというような方向性になるということでもいいですか。

○木下順一議長 岩本学校教育課長。

○岩本学校教育課長 公表等につきましてはガイドラインのほうをつくっておきまして、学校給食における異物混入等の公表基準というのがございまして、そちらに基づいて公表する、しないの判断をさせていただくところです。

ただ、今回につきましては、小学校と幼稚園に副食の提供ができなかったというような結果となってしまいましたので、保護者のほうにその旨、お伝えをさせていただいたということで、そのような案件がありましたので、議会のほうにも報告をさせていただいておるところです。

今後は、そのガイドラインに沿って対応していきたいというふうに考えております。

(「ガイドラインの概要」の声あり)

○岩本学校教育課長 ガイドラインの概要につきましては、公表基準というところは、これはマスコミ等への公表基準ということも含めてになりますけれども、人的健康被害のおそれが高い場合ということとしておりますので、おおむね金属類、それからガラス片等を給食の中に入っていたものを子供が口に入れてしまったというような場合については公表するということとしております。

公表しない場合といたしましては、人的健康被害のおそれが極めて低い場合、または、人的健康被害がない場合ということとしておりますので、例えば、食べ物に由来するもの、卵のからとか貝殻とか、あと、あつてはいけないんですけども、髪の毛とかビニール片等があつて、給食全体への影響が生じていないというふうな判断したものについては公表はしておりませんが、そういった案件があれば、直接学校のほうへ行って子供

に謝罪をしたり、保護者のほうにもその旨お伝えして謝罪させていただくということはしておりますが、全体の公表というところは、このガイドラインに沿って行わせていただいております。

以上です。

○木下順一議長 よろしいですか。

瀬崎議員。

○瀬崎伸一議員 私どもが知ることということが必要かどうかという議論は別に、どっちかという、どうでもよくて、やっぱり子供たちに直結していることだと、私の一般質問にも通じることやと思います。ですもんで、子供たちは純粋に、ああ、何かあったんやなという感じで受け取りますので、別にそれを悪いようには取っていないと思うんですけども、やっぱりちょっと大人が隠し事をすると、子供たちはやっぱりそういうところを敏感に感じ取ると思うので、今、課長がわざわざ謝りにも行かれるというようなことも言われていたので、そこまでしていただければ大丈夫かとは思いますが、やっぱりせっかくなら、起こってしまったことはしょうがないこと、ミスはミスとして認めて、それを必ず子供らの学びにつなげていっていただけるようにしていただければ、公用車のこともそうだと思います。そのようにしていただければ、よろしくお願いします。

○木下順一議長 他にございませんか。

濱口正久議員。

○濱口正久議員 すみません。今回、この給食について、対応なんですけれども、ナットが欠落したところが判明してから副食中止の指示をされたわけなんですけれども、私は、安全面から考えて賢明な措置やったと思いますけれども、こういうものは、こういう場合の対応マニュアルというのがあって、こういうふうな指示なきったんでしょうか。

○木下順一議長 学校教育課長。

○岩本学校教育課長 対応マニュアルというか、そういう安全が、給食を提供するに当たって安心・安全が担保できないということが分かった時点で、もうその食材については止める。場合によっては、全ての給食を止めるということも視野に入れて対応するというふうにしておりますので、今回はその一部である副食のみを止めさせていただいたということで、そういうマニュアル等に沿って対応したということとなります。

○木下順一議長 濱口正久議員。

○濱口正久議員 せっかく、今回、事なきを得て、こういうふうの一部副食が提供されなかったんですけども、やっぱり一番担保されるべきは子供たちの安全面やと思いますので、今回を機に、しっかりと連絡の入れ方とか中止の仕方とかもしっかりと対応をマニュアル化していただければなというふうに思いますので、また今後ともよろしくお願いします。

○木下順一議長 他にございませんか。

戸上議員。

○戸上 健議員 車検切れは、うっかりミスが出るとも、今回の給食のやつは、子供の安全、健康被害に直結する問題だと、こちらのほうが僕は重大問題だというふう思うんです。

それで、この学校給食衛生管理基準によると、この第9に、食器具、容器及び少量の器具は、使用后、確実に洗浄するとともに、損傷がないように確認しというふうに言われております。ナットが途中で緩んだ、なく

なったということは、始まる前に緩んでいたという可能性も非常に高いわけでしょう。しっかり締まっておればそんなことは起こり得ないわけで。ということは、前日の給食調理の後、こういうふうに基づんでうたわておるように、損傷がないように確認しということがしっかりやられたのかどうかということが疑問です。先ほどの説明では、目視でしたということですが、ナットの緩みを、裏のナットが飛んでいたというんでしょう。ということは、裏まで目視が果たしてできたのか。目視でも、緩んでおるかということのは分からなくて、きっちり器具でそれを締めやなあかんということなんだというふうに僕は思うんです。

それで、民間業者に委託するときに、ここの議会の場で問題になったけれども、議論になったけれども、安全は大丈夫なんだろうねということを我々は再三確認したはずですね。念を押したはずで。大丈夫ですと、あなた方はこれ言明したわけで、その1年もたたなうちにこういうことが起きておるということは、僕は本当にこれはもう重大問題だったというふうに思います。

こういう衛生管理基準でうたわれた所作、それをきちんと業者にやらせておったのかどうかということについては、いかがなんでしょうか。毎日の調理終わってから洗浄して、調理器具についてしっかり確認することが毎日行われておったのかどうかということなんです。

○木下順一議長 岩本学校教育課長。

○岩本学校教育課長 今、議員ご指摘の調理器具の確認でございますが、調理後、調理前ともにきちんと対応はしておりました。

○木下順一議長 戸上議員。

○戸上 健議員 しておれば、こういうことは起こらんというふうに僕は思うんですよ。僕、バイクに乗っておるけれども、ねじ締めはきっちり締めておけば、一旦動いてから途中で抜けるということはほとんどあり得ないわけです。ちょっと緩んでおるから、動作の後、そういうことが起きるわけで、課長、そういうふうにおっしゃったけれども、この委託業者に、議会でもこれは指摘されたと、しっかり安全確認は徹底しろということを行行政指導を、先ほどの説明では業者に指導したとおっしゃいましたけれども、改めて社長ぐらいを呼んで、きちんとやっていただきたいというふうに思います。

以上です。

○木下順一議長 他にございませんか。

河村議員。

○河村 孝議員 今回、その起こってしまったことに対して、構造上のどういうふうなナットでどういうところのものかというのは、写真もないので確認しようがないんですけども、その後の対策として、戸上議員もおっしゃるように、一番は子供たちの安心・安全なわけで、課長、説明の中で、その後の防止策として、もしそういうことが起こった場合を想定して、カバーをするなり何なりを考えると。要するに、給食の中に混入するという可能性をゼロにするということをおっしゃいましたけれども、それはそれで一番大事なんです。だけれども、そもそもなぜナットが緩んでしまったんやと、そういう振動が起きて緩みやすい部分なのか、ナットに欠陥があるのか、その辺の緩んだ原因というのは把握できているんですかね。

○木下順一議長 教育長。

○小竹教育長 議員の皆様には、今回は情報提供させていただいていないんですけども、これ業者の報告文書

がございまして、写真も添付されております。これによって、大変小さいので恐縮なんですけれども、魚国さんですね、業者全体でこの今回の事故につきましては把握していただいているというふうに書いておりますので、先ほどおっしゃっていただきましたように、重大事故として改めてこの分析をするべく、会社の現場の担当者だけではなくて、会社のほうの担当者、関係者としてしっかり話を詰めていきたいと思っております。

それと同時に、もう一つ課題を申し上げますと、今回、ちょうど給食の前後のことで、議会の開催もありまして、我々の指揮系統がちゃんと確保できなかった。連絡はしたけれども、学校の確認がちゃんと本当にできたのかというと、ちょっと怪しいところがございます、そここのところを改めてどんな状況につきましても、きちんとした指揮命令系統、確認ができるように、改めてその組織づくりをしたいと思っております。今回のことで、現場を預かっている栄養補助教員のほうが随分慌たたくいろいろ連絡をさせていただいたんですけども、そのタイムラグがどうしても生じてしまいまして、学校によっては10分ぐらい、食べていいよという連絡が遅れてしまったところがあります。それがために、もう給食終わっちゃったやないかというようなこともございましたので、その辺のところも、今回のことを教訓にしながら、業者との対応、それから教育委員会と学校間の連絡、その辺の体制を改めてつくっていききたいと。それも再発防止ということでしっかり取り組みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○木下順一議長 河村議員。

○河村 孝議員 しっかりそのチェックをする、戸上議員もおっしゃいましたけれども、今まで以上にしっかりチェックしていただくということは、現場の人たちにしっかり指導してほしいなということと、ナットなのか、ボルトなのか、どこが悪いのかはしっかり分析して、例えば、それがだめなのであれば、違う部品を使ったり、ナットをダブルにするとか、その辺の対策も、しっかり原因を究明して練っていただきたいというふうに思います。

以上です。

○木下順一議長 他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○木下順一議長 ないようですので、この件は終了いたします。

以上で、本日の協議事項は全部終了いたしました。

これをもちまして、全員協議会を散会いたします。

(午前11時30分 散会)

議長はこの会議録をつくりここに署名する。

令和2年9月15日

鳥羽市議会議長 木 下 順 一